

山田泰之の市議会報告

日本共産党岩国市議会議員

海士路町2 55 7
31 2985



お読みください
日刊 月2900
日曜版月 800円



浄化槽法定検査

受検率わずか29.1%、

検査料金を安くするよう求める

新年のご挨拶を申し上げます。

世界でも日本でも歴史の大きな変わり目に立っています。

春 迎

岩国でも艦載機来るな、地方自治と民主主義を守ろうという大きな流れは、愛宕山に米軍住宅はいやだ、爆音訴訟へと発展しようとしています。今年も衆議院選挙があります。共に力をあわせて新しい日本を、岩国をつくる為にがんばりましょう。

十二月議会は、十二月四日から二十四日まで開会されました。一般質問に二十一名が登壇し、基地問題に関連し、民間空港や愛宕山関連質問が多く出されました。

私は経済悪化から、中小企業・小規模事業者を対象にした原材料の価格高騰対策等緊急保証制度（緊急保証制度）と「浄化槽の法定検査の実施状況と検査料金の低減」更に「国道188号の渋滞対策と旧国病下の交差点改良」の質問を行いました。質問・答弁の要旨は左記の通りです。

緊急保証制度の活用を

相談・申請件数一ヶ月間100件

前年同期の20倍

アメリカ力発の金融恐慌の影響 濟を支えている中小企業・小規模と投機マネーによる原油や穀物 模事業者の経営は更に厳しいの高騰が加わり、日本経済は 状況に追い込まれ、年末を乗り越える為、政府は698業種を

対象に原材料価格高騰対応等緊急保証、略称緊急保証制度・セー

5号を開始しまし

た。この制度の活用状況と相談体制について求めました。

答弁では、中小・小規模企業から相談及び申請は一ヶ月間で約100件と前年同期の20倍以上もあり、対応に追われている。

今後は市報やホームページで情報提供量を増大させ、周知徹底をはかるようにする。更に本来的目的である中小企業者のための融資の実行につながるよう、実態を把握しながら認定事務を進めていくとしました。

緊急保証制度とは

米国のサブプライムローン問題に端を発した世界経済の成長鈍化と資源・食料価格の高騰等の影響により、急激な原油・原材料価格や仕入れ価格の高騰の為、十分な価格転嫁を行なうことが難しい中小企業・小規模事業者に対して、安心実現の為の緊急対策として平成20年10月31日から平成22年3月31日までの時限措置として実施。

この保証制度は、緊急保証の枠を20兆まで拡大し、対象事業種を698業種、全国の中小・小規模企業314万企業をカバー。

平成19年10月に導入された責任共有制度の適用はなく、100%信用保証協会の保証となり、対象業種の方は、一般保証8,000万円に加えて、別枠で8,000万円までの保証を利用できる制度です。

議員提出議案

雇用対策、教育、福祉の充実を求める意見書(要旨)

公明党反対討論 17対16で否決

アメリカ力発の金融危機がわが国の経済に確実に影響を与え、株価の暴落、円高の急進で輸出減、生産減を強いられ、大企業だけでなく中小企業にもその影響が波及している。

こうした状況を打開する為の緊急対策を国に早急に講じるよう、企業に雇い止めの中止 失業給付金6兆円の活用 定額給付金2兆円を雇用対策、教育、福祉に有効活用をもとめる。

私は、浄化槽設置者の多くの後の検査料金の引下げを求めみなさんから浄化槽の保守点検・した。清掃維持管理を業者に委託)年 答弁では、法定検査)11条(の6回(しているのに、毎年、山口 受検率は、低いとは予想して県浄化槽協会岩国支部と保険所 たが、29.1%と低くびつくりしてから法定検査)11条(を受けるよ いる。受検率を上げるには料金う文書でたび重なるよう催促が を安くするののも一つの方策だ であること。又、法定検査はわずか 思う。市長会を通じて山口県に 強く要望するとしました。

同じ内容にしては高すぎると不 満の声があることを照会し、当 局の見解を質しました。 さらに岩国市内での浄化槽の 法定検査)11条(の実施状況と今

国道188号バイパス急務

国道188号の渋滞は今に始まったことではない。山田議員は、芸予地震(平成13年3月)の際、青木の弧線橋の処

30年前から多くの住民、又議員が渋滞対策を求めてきたが、議員が渋滞対策を求めてきたが、落とした事例を示し、仮に橋が議会議答は「国道188号の慢性的な交通渋滞解消の為、南道路の南伸は大きな課題として早期に路線として指定されるよう最大限努力していく」と何度も答弁が繰り返されてきましたが、いつこうに前進が見られない。

山田議員は、芸予地震(平成13年3月)の際、青木の弧線橋の処で陥没事故が起こり、通行不能になった事例を示し、仮に橋が落下したら電車も運行不能になる。このことを考えれば早急に代替の道路・バイパスが急がれている。岩国市としての対応を求めました。

必要性は認識

財源確保のハードルが高い

答弁では「道路整備を行なうには安定的な多額の財源の確保が不可欠ですが、道路財源を取り巻く情勢は大変厳しい」「最新の需要推計などを基礎に新たな整備計画を策定する」「現在、国土交通省で見直し作業が行なわれている」としました。

旧国病下交差点改良

予算の関係で困難



旧国病下の交差点改良について、答弁しました。

越波・交通安全」の3点の問題、20億と架かる事業ではない。解消が出来、岩国市として「重道路を少し拡幅し、右折車線、左折車線を設ければ改良は可能と

しかし、予算の関係で困難と実施を求めました。

西村幸弘議員に対する

辞職勧告決議

全会一致で採決される

(辞職勧告決議の要旨)

西村議員は、合併前の旧美和町長時代に於ける虚偽有印公文書作成、同行使の罪に問われ、平成19年12月に最高裁判所は懲役1年10ヶ月、執行猶予4年の刑が確定しました。この判決を受け、岩国市は、市条例に基づき町長退職時に支払われた退職金一四八〇万円の返納を請求。

西村議員は、逆に岩国市を相手取り、退職金の返納請求取り消しを求める訴訟を起こした。西村議員は、議員報酬という公金を受け取る立場にありながら、これらの行為は不当として、速やかに市議会議員を辞職することを求めました。

予算不足工事中断

南岩国町3丁目

片山川往還橋から下片山橋の間の左岸(94m)の嵩上げ工事。

今年度は予算がないとして1/3でストップ。一日も早い完成が待たれています。



要求・要望実現

道路側溝改良、舗装完了(南岩国3・4丁目県道)道路の凹凸でトラックの振動が激しく、夜寝られないとの苦情あり、県土木にて実施。



下水料金値上げ反対

日本共産党が反対討論

下水道料金(基本料一般家庭10立方メートル)は合併前の料金 旧岩国市1ヶ月当たり1169円、旧由宇町1365円、旧玖珂・周東町1312円、旧錦町1500円とバラバラな状態でした。

これを全市統一するということで旧由宇町の1ヶ月当たり1365円の料金にする案に対して、日本共産党市議団は、旧岩国市が一番人口が多く値上げになる。

景気の厳しい今値上げすべきではないと反対しました。